

風水害への備え

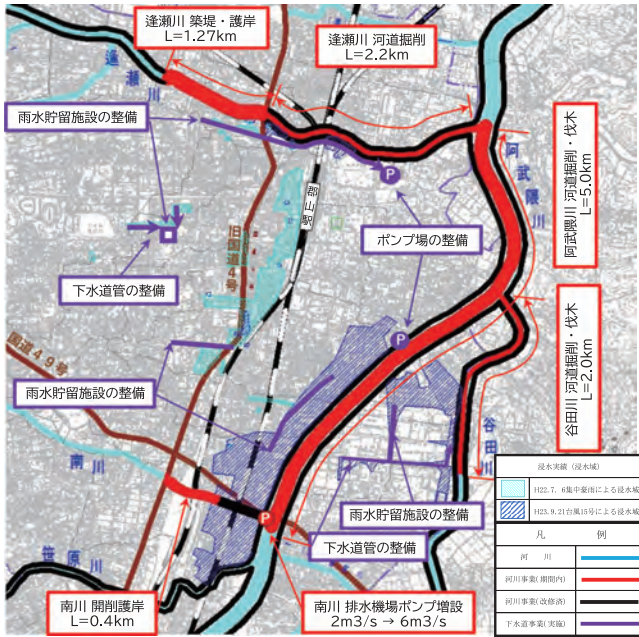
郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン



近年各地で多発するいわゆる「ゲリラ豪雨」等による浸水被害を軽減するため、「郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン」を策定しました。

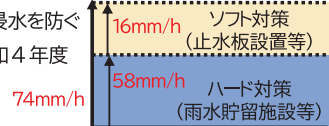
流域の概要

- 郡山市街地は、過去(S61~H25)の27年間で15回の浸水被害に見舞われ、平成22年7月豪雨時も床上62戸、床下141戸の浸水被害が発生した。
- 近年、局地的豪雨が顕在化し、甚大な水害が多発。福島県での時間雨量50mm以上の降雨の観測回数が増加している。福島県内55気象庁観測所データより S56~H4年 1.6回/年 ⇒ H15~H24 4.2回/年



郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン対象地域

- ◆平成26年9月9日 国の「100mm/h安心プラン」登録 (令和3年3月末時点:全国23か所、東北地方1か所)
- ・河川事業(国・県・市)と下水道事業(市)が連携
- ・74mm/hの降雨に対し床上浸水を防ぐ
- ・計画期間:平成26年度~令和4年度



取組効果

麓山調整池の整備効果
(令和元年6月18日から暫定供用)



①【暫定供用前】

令和元年5月15日(水)
10分間雨量20mm
1時間雨量33mm

通行止め1箇所
道路が見えなくなるほどの浸水が発生



②【暫定供用後】

令和元年6月23日(日)
10分間雨量18mm
1時間雨量33mm

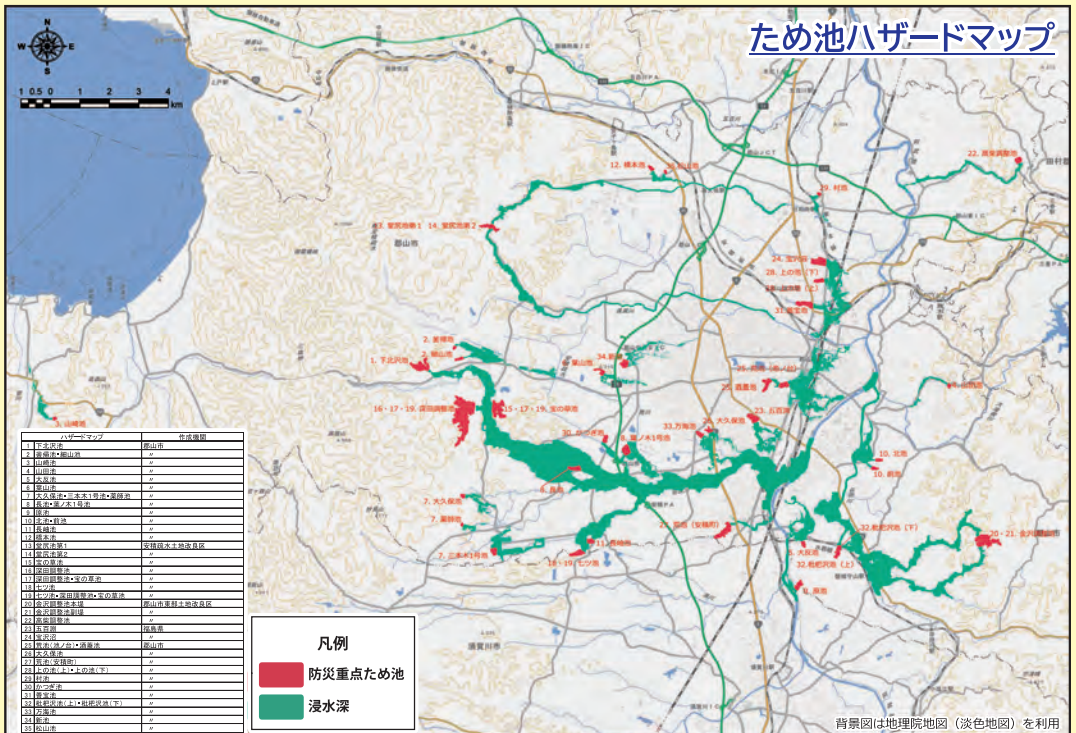
通行止め0箇所
①と同程度の雨だったが浸水が軽減

ため池ハザードマップ

ため池ハザードマップは、地震などにより、万が一、ため池が満水状態で決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために、浸水予測を行い、予想される範囲とその深さ、ため池の水が到達するまでの時間等を表示しています。



ため池ハザードマップ



ため池ハザードマップ

背景図は地理院地図(淡色地図)を利用